みんなで漁村づくり
1. まず、考えてみよう

あなたが住んでいるまちを見回してみましょう。

日頃、困っていることはありますか？
"こうあったらいいなあ"ということはありますか？
"ここをこんなにしたいなあ"ということはありませんか？

おかあさん達が考えていることがあるでしょう！
トイレを水洗にしたい
台所を新しいキッチンにしたい
ゴミ置き場がほしい
子育て夫婦のための住宅用地がほしい

若い人たちは！
お祭りや伝統行事をしたい
駐車場がほしい

おとうさんたちは！
道を広げたい
満池の整備を進めたい
火事が心配だ

……等、身のまわりで気になっていることを考えてみよう！

2. みんなで歩いてみよう

自分の住んでいるまちについて案外、見通したり、忘れてしまっていることが沢山あるものです。……
"集落再発見"の旅に出よう。
3. 地図を広げて、ワイワイしよう

“集落再発見の旅”のあとは、仲間の家や公園で集まって、“発見”したことを地図の上に描きこんでみよう。……………残しておきたい「砂浜」や「磯」、「神社」や「ごほと」にもしろしをつけておこう。

“まち”を見回して、残しておきたいものと、改善しなければならないものを整理してみよう。

残しておきたい“まち”の心……例えば

- 石積みの壁
  “まちの風景。まちの“らしさ”を形にする伝統。

- 美しい海岸
  「海村の子供たちは、まっ黒な日ばかりがよくない」

- 染みこむ「まち」の色
  「夏の日陰に、あいにく日暮れがやや急ぐ」

改善したい場所やもの……例えば

- 流れを守るドブ川
  「家屋との間で、川が少し深い。ドブ川に maken させたい」

- 山に落ちたゴミ
  「だれかが一筋のゴミを拾ってたら、いつのまにかゴミが山。ゴミ拾い活動をすれば……」
4. 解決策を探り、夢を絵にしてみよう

いま、困っていることや、不安なことが確認できたら、次は「どうしたら、解決できるか」考えてみよう。みんなが幸せになるように、住みやすいまちになるように。

そして、みんなで出し合った「夢」を専門家にきれいに描いてもらおう。「夢」がだんだん「本当」に近づいてきた。

できた絵をもう一度、みてみよう！

5. 夢の実現にむけて

みんなで描いたこの夢は、子供や孫へのプレゼント！一つ一つの夢を、一つ一つ実現していこう。

まず、自分達で出来ることは、自分達でやってみよう！

みんなの夢 明日のまちの姿
市町村や県、国の力を借ってみよう！
漁協にも相談してみよう！
みなさんの住んでいるまちを住み良いものにしてゆく主人公はもちろんみなさんです。しかし、みなさんだけでは、どうすれば良いのかわからないことや、やりにくいことがあろうかと思います。たとえば、集落内の道路の幅をひろげたいが家を動かさなければならない計画できないとか、集落の排水施設をどう配置するかなど。

そんなときは役場の人やまちづくりのプロ（漁村計画の専門家）に相談してみたら良いでしょう。専門的な広い視野と長い経験にもとづいた適切な助言を得ることができると思います。

みなさんとともに、明日の漁村づくりを考える
財団法人 漁港漁村建設技術研究所
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-10 東京建物内神田ビル
役員室・総務部
TEL:03-5259-1031（代表）・FAX:03-5259-0551
第1調査研究部・第2調査研究部・海とくらし研究室
TEL:03-5259-1021（代表）・FAX:03-5259-0552
http://www.ffnet.or.jp/jifc